

カーボディマスター科、 自動車整備・トータルマスター科			2026年度 授業計画			
時 期	3年後期	単 元	実 習	教科名	車体総合	
科 目	自動車検査作業	教科書等 持参品	日産車体士テキスト		発行日	
			日産塗装士テキスト			
総時限	31			教科		上谷 晃一
総時間	49.6			担当		濱村 和樹
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当						
車体整備士として自動車板金、塗装全般の実務経験がある教員により板金全般の工具の取り扱い、損傷部分の修正について指導						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
・板金塗装の一連の流れを理解する。 ・外装のあらゆる不具合の対応を理解する。 ・車体整備の責任を理解する。						
3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）						
・板金塗装の一連の流れが一人でできる。 ・外装のあらゆる不具合の対応が一人でできる。 ・完成の判断ができる。						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
・実習授業時に行なう作業が正しく出来るか、技量と取り組み姿勢を 100点満点で評価する ・合格点：60点以上 80点以上：優 60点以上：良 60点未満：不可 ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。						
5. 準備学習						
・過去2年間で学んだ自動車整備の基礎知識全般を復習しておくこと						
6. 学修時間と単位						
本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。 1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。						

カーボディマスター科、
自動車整備・トータルマスター科

2026年度 授業計画

時 期	3年後期	単元	実習	教科名	車体総合		
7. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					8. 教科書、資料、備品類		
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量	
1	作業概要説明				ハンマー		
2	車両分解				ドリー		
3	損傷部の粗だし				スタッド溶接機		
4	損傷部のならしハンマリング				パテ		
5	パテ付けパテ研ぎ				ラッカーシンナー		
6	"				ウエス		
7	"						
8	マスキング				マスキングテープ		
9	ブラサフ塗装				マスキング紙		
10	ブラサフの面だし				スプレーガン		
11	巣穴埋め、ペーパー目消し				希釈シンナー		
12	マスキング				プライマーサフェーサー		
13	調色				水研ぎペーパー		
14	塗装作業				グレージングパテ		
15	乾燥				ベースカラー		
16	ブツ取り、不具合修正作業				クリアー塗料		
17	"						
18	"						
19	"				フィルムペーパー		
20	"				トレブロック		
21	磨き作業				ポリッシャー		
22	"						
23	"						
24	"						
25	"						
26	"				コンパウンド		
27	部品組み付け				バフ		
28	"						
29	"						
30	"						
31	車両完成検査、実習場清掃						

※ 期末試験は授業時間に含まない